6．その他

関連する係争中の民事手続	日本国内	裁判所名	事件番号等	
		詳細		
	日本国外	国名	裁判所名	事件番号等
		詳細		
関連する刑事訴追の有無		□ 子の連れ去りをし、又は留置をしていると思料される者、又は子と同居していると思料される者は刑事訴追されている。（該当する場合、詳細を記載） 国名 詳細 □ 刑事訴追されていない。 □ その他（　　）		
所在の特定		□ 中央当局による子及び子と同居している者の所在の特定を希望する。 □ 中央当局による所在の特定を必要としていない。		
中央当局がとるべき措置（子の日本国からの返還援助申請の場合のみ）		＜複数選択可＞ □① 合意による子の返還の実現を目指すため、中央当局から、子と同居している者に連絡をとり、協議のあっせんその他の必要な措置をとることを希望する。 □② 裁判所への申し立てによる子の返還の実現を目指すため、子及び子と同居している者の所在が特定された際には、子と同居している者の氏名の開示を求める。 （②のみを選択した場合、以下のどちらか一方を選択） □ 所在の特定等に必要な範囲で、中央当局が、子と同居している者と連絡をとっても差し支えない。 □ 中央当局が、子と同居している者と接触しないことを希望する。		
その他、中央当局への要望等				

外　務　大　臣　殿

年　　月　　日

この申請書及び添付書類の記載は事実に相違なく、

（必ずどちらか一方を選択してください）

□ 国際的な子の奪取の民事上の側面に関する条約第八条、及び国際的な子の奪取の民事上の側面に関する条約の実施に関する法律第四条第一項に基づき、日本国から日本国以外の条約締約国への子の返還を実現するための援助（外国返還援助）を申請します。

□ 国際的な子の奪取の民事上の側面に関する条約第八条、及び国際的な子の奪取の民事上の側面に関する条約の実施に関する法律第十一条第一項に基づき、日本国以外の条約締約国から日本国への子の返還を実現するための援助（日本国返還援助）を申請します。

申請者署名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

（署名は必ず申請者本人が、自筆で行ってください。）